

◇ 東北工業大学協定大学派遣留学

(短期派遣留学)に関するアンケート ◇

学科(専攻)・学年・氏名	建築学科・1年・渡部耕大
学生番号	2431176
派遣国	イギリス
派遣期間	3週間

◆該当するところに○を(場合により複数回答も可)、記述欄には書き込んで回答をお願いいたします。

○大学の施設、環境について

留学先大学の環境について	
留学生同士、および現地学生との交流について:	
現地の友人:	数多くできた ・ <u>できた</u> ・ あまり交流できなかった ・ 交流がなかった
他の国の留学生:	友人が数多くできた ・ <u>友人ができた</u> ・ あまり交流できなかった ・ 交流がなかった
具体的にあれば:	
大学の施設・設備について:	※どういった施設・設備が設置されているか(使用可能か)
図書館:	<u>自由に使用可能</u> ・ なし
コンピュータールーム:	<u>自由に使用可能</u> ・ なし
食堂:	あり(1食 約 1500 円) ・ なし
スポーツ関連施設:	自由に使用可能(テニスコート・バスケットボール・バレーボール プール・ジム・卓球施設・その他[利用には手続きが必要]) ・ <u>なし</u>
危機管理について	
大学構内・大学周辺の治安状況について: ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。	
治安は悪い ・ 治安は悪いが夜間の外出をしなれば問題ない ・ <u>治安は比較的良い</u>	
日本と変わらないと感じた ・ 日本より良い	
注意点およびアドバイスをお願いいたします。	
寮では週に一回清掃があるが、鍵をかけないとノックなしで入ってくるので危ない。	
保険の加入の有無とその内容について:	
大学の旅行会社の保険 ・ クレジットカード会社の保険 ・ その他 具体的に[AIG損保]	

○住居の設備について

住居について	
(☒ 寮・ ☐ アパート・ ☐ ホームステイ・ ☐ ホテル)について	
キッチン	☒ あり・なし
食事:	あり・別途料金を払えばあり (1食 約 円) ☒ なし
バスルーム:	☒ 自由に使用可能・時間制限あり(時まで 具体的に)・なし
備品:	バスタオル/タオル ☒ あり なし・ドライヤー あり ☒ なし 歯ブラシセット あり ☒ なし
その他:	
日本からノートPCの持参の有無	
☒ 持参した方がよい	理由: [課題などを取り組む際に使用します。]
☐ 不要	理由: []

○生活について

費用について	
留學生活を通してかかった費用: 約 100 万円	
生活費: 約 30 万円	
※内訳を教えてください。	
交通費: 約 2 万円	
食費: 約 10 万円	
お土産代: 約 5 万円	
旅行費用: 13 万円	
その他: [寝具等: 円]	
留學費用に関して、今後の留學生へのアドバイスをお願いします。	
ロンドンから出ないで生活するのならバスを使うのが一番費用が抑えられます。理由としては、バスの運賃は距離と時間は関係なしに一律約 200 円なので、地下鉄よりも安く済みます。	
生活全般について	
日常の買い物の場所: ☒ スーパーが近く(徒歩 10 分)にある・ ☒ コンビニが近く(徒歩 1 分)にある	
公共交通機関(を利用)すればある	
洗濯:	コインランドリーが近くにある・ ☒ 宿舎で洗濯機を利用・宿舎で手を使って洗濯
周辺地域での病院や薬局の有無: [わからなかった]	
滞在した町について:	☒ 気に入った ☐ まあまあ ☐ あまり気に入らない ☐ 気に入らない
公共交通機関やタクシーの利便性:	バス: ☒ 大変便利・便利・不便 理由[料金安い+一律]
地下鉄など電車:	大変便利・ ☒ 便利・不便 理由[行動範囲は広がるが暑い]
タクシー:	大変便利・便利・不便 理由[使用しなかった]

その他：[	]
日本から持っていくべきもの： ※実際に便利だったもの、持って行くべきだったと思うものなど 寮はお世辞にも綺麗とはいえないのでコロコロ等の掃除道具は必須。 布団も汚いので寝袋推奨。カップ麺などを詰めるスペースよりも掃除関係を優先したほうがいい。	

○授業について

授業全般について	
留学生用の語学の授業： ☒ 有 ☐ 無	語学のプレースメントテスト： 有 ☒ 無 ☐
授業の登録で困ったことはありましたか？あった場合、どのように解決しましたか？ 困ったこと： あり ☐ ☒ なし 解決方法： 担任に相談 ☐ 研究室の教員に相談 ☐ 国際交流担当職員に相談 ☐ 友人に相談 ☐ その他、具体的に[	
本学との授業・学習と比べてください： 学習量： ☒ 多い ☐ やや多い ☐ やや少ない ☐ 少ない 授業のレベル： 高い ☐ ☒ やや高い ☐ 変わらない ☐ やや低い ☐ 低い 授業の形式： 講義形式が多い ☐ ☒ ゼミ形式が多い 成績評価方法： テスト ☐ ☒ ゼミでの活動 その他、具体的にあれば記入してください [週に一回トリップ(校外学習)があるので歩きやすい靴は必須です。]	
クラブや課外活動について： ※参加の有無、内容など クラブに参加 ☐ ☒ 不参加 具体的に[	
休暇中の過ごし方について： ☒ 現地の友人と過ごす ☐ 日本の友人と過ごす ☐ 一人で過ごす 具体的には： ☒ 課題演習 ☐ スポーツ ☒ 飲み会 ☐ その他(具体的に	

○改善点・要望等

改善点・要望等があれば、自由にご記入ください。
特にありません。

～ ご協力ありがとうございました ～

留学報告書: 短期派遣留学(2024/8/17-2024/9/8)

建築学科 学年 1 学生番号 2431176

○留学の日程(学期開始/終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください)

日程	スケジュール
8 月 18 日 (日)	現地到着
8 月 19 日 (月)	初授業
8 月 21 日 (水)	トリップ(ボラマーケット)
8 月 24 日 (土)	カンタベリー大聖堂(都立大の友人と)
8 月 25 日 (日)	ロンドン飲み比べ(ウェストミンスター)
8 月 28 日 (水)	トリップ(大英博物館)
8 月 30 日 (金)	ビッグベン訪問
9 月 1 日 (日)	ロンドンアイ
9 月 3 日 (水)	ストリートアート鑑賞
9 月 5 日 (金)	お疲れ様会
月 日 ()	
月 日 ()	日本帰国

留学報告レポート

留学生生活全般について、①留学目的の達成度②留学、学習、国際理解への意欲に関する留学前後の意識の変化、③今後の長期留学の意欲等を含めて 2000 字程度で報告してください。

① 留学目的の達成度

私の留学目的は、英語力の向上と異文化理解を深めることでした。具体的には、日常会話のスキルを伸ばし、現地の文化や歴史を実際に体感することで、より多角的な視野を持ちたいと考えていました。留学前の英語力は、文法や読解にはある程度の自信がありましたが、リスニングやスピーキングのスキルには不安を感じていました。また、異文化に対する興味が強く、外国の人々とのコミュニケーションを通じて、新たな価値観や考え方に触れる機会を得たいと考えていました。

実際、最初の数日は言葉の壁に直面しました。現地のアクセントやスピード感に慣れるまで時間がかかり、特にリスニングは思った以上に難しかったです。しかし、授業や普段の生活を通じて、徐々に現地の言葉や文化に適応していきました。現地の人との交流を重ねることで、少しずつ会話力も向上していきました。1ヶ月という短期間ではありましたが、目的としていた英語力の向上は実感できましたし、異文化を直接体験することで、理論だけでは得られない深い学びを得ることができました。

② 留学、学習、国際理解への意欲に関する留学前後の意識の変化

留学前は、留学というものをどこか特別なものとして捉えていました。日本国内で学ぶことももちろん重要だと理解していたものの、外国に行くことでしか得られない経験があるのではないかと考えていたのです。しかし、実際に現地で1ヶ月を過ごしてみて、外国での学びが単に「特別な経験」ではなく、日常の延長線上にあるものだということに気づきました。これは、異文化に対する壁が自分の中で少しずつ取り払われていく過程でもありました。

また、留学後の自分の意識として最も大きな変化は、学びに対する積極的な姿勢です。イギリスでの経験を通して、「学び」はどのような環境でも、自分から積極的に働きかけることで得られるものであると実感しました。英語を学ぶことも、ただ授業を受けるだけでなく、自分から話しかけ、失敗を恐れずにコミュニケーションを図ることで初めて効果的なものになることを学びました。国際理解に関しても、相手の文化を理解することが大切だと留学前から感じていましたが、実際に現地で生活してみると、その「理解」の深さがさらに重要であることに気づきました。単なる表面的な違いではなく、なぜその文化が存在し、どういう歴史的背景があるのかを知ることで、より深い理解が得られるのだと感じました。

③ 今後の長期留学の意欲

1ヶ月という短期間の留学を経て、今後の長期留学への意欲は非常に高まりました。まず、英語力のさらなる向上を目指すためには、長期間の現地生活が不可欠であると感じました。1ヶ月ではある程度の成果を実感できましたが、やはり本格的な流暢さや高度な会話スキルを身につけるためには、さらに時間が必要です。加えて、長期的な留学を通じて、より深い異文化体験や国際的な人間関係を築くことができると確信しています。

また、留学中に会った他の留学生たちからも刺激を受けました。彼らの中には、数ヶ月から1年以上滞在する計画を持っている人がおり、彼らの経験談や学びの姿勢に感銘を受けました。そうした長期的な留学を経て、より自信を持って自分の意見を発信できる力を身につけたいと強く思うようになりました。

結論として、1ヶ月のイギリス留学は自分にとって非常に有意義な経験であり、今後の長期留学への強い動機付けとなりました。今回得た学びを活かし、さらに成長するために、今後のステップとして長期での留学を選択肢として考えるのも良いと思いました。